

平成 22年度決算の概要 (2011年 3月期)
中期経営計画 第二次こうぎん維新」



目次

1. 貸出金 1

貸出金残高

高知県内貸出金

中小企業等に対する貸出金

2. 預金 3

総預金残高

高知県内総預金残高

個人預金

3. 地元におけるシェア 5

預貯金・貸出金のシェア

4. 有価証券 6

有価証券残高

評価損益

有価証券関係損益

5. 損益状況 7

業務粗利益

経費

コア業務純益

利鞘

6. 不良債権への取組み 11

金融再生法開示基準に基づく債権

7. 自己資本比率 12

自己資本比率、Tier1比率

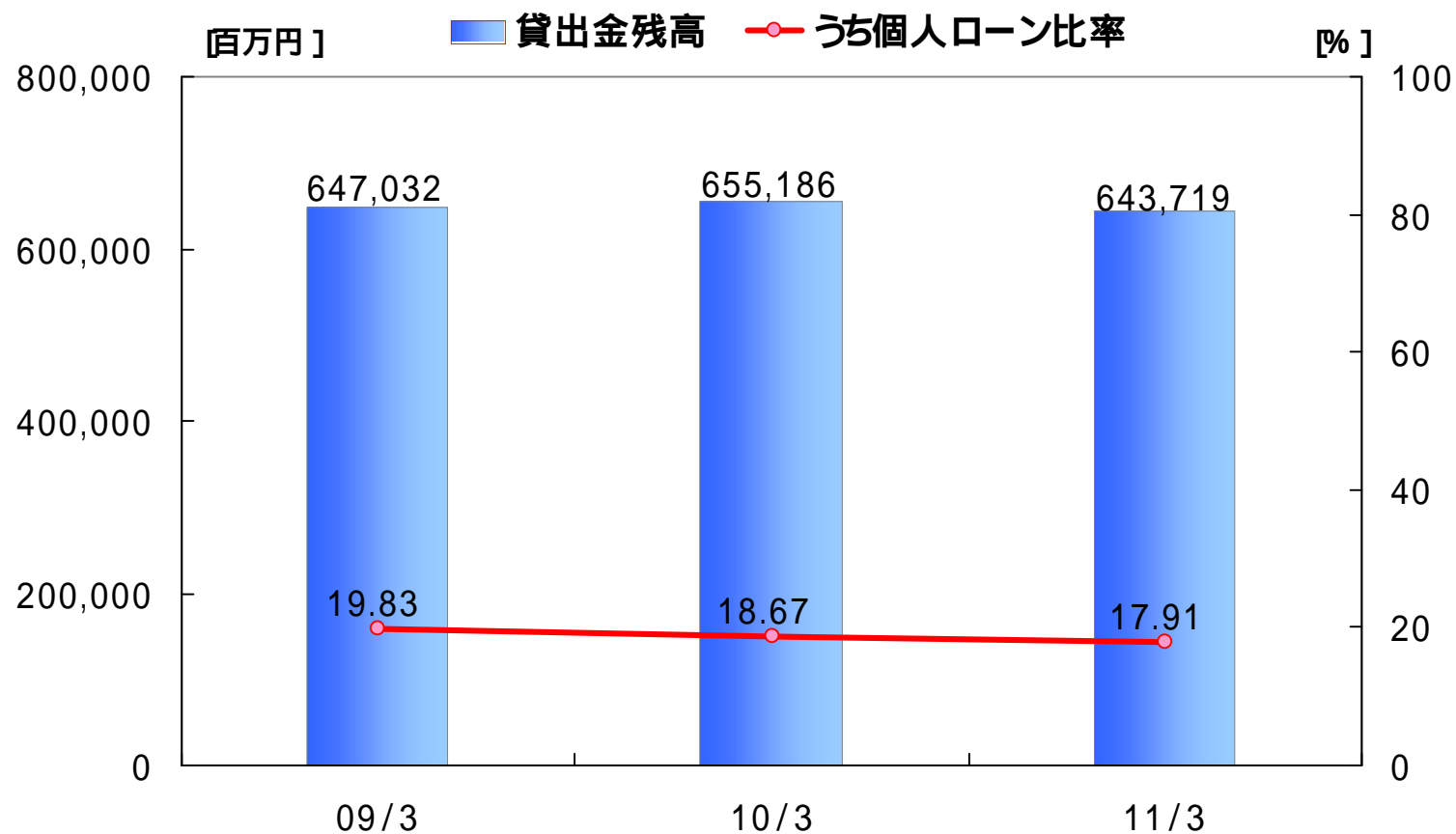
8. 中期経営計画 13

9. 地域社会への貢献 15

1. 貸出金

貸出金

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要に積極的に対応するなど、貸出金の増強に努めてまいりましたが、資金需要が弱かったこともあって、貸出金残高は前年同期末比114億円減少して6,437億円となりました。



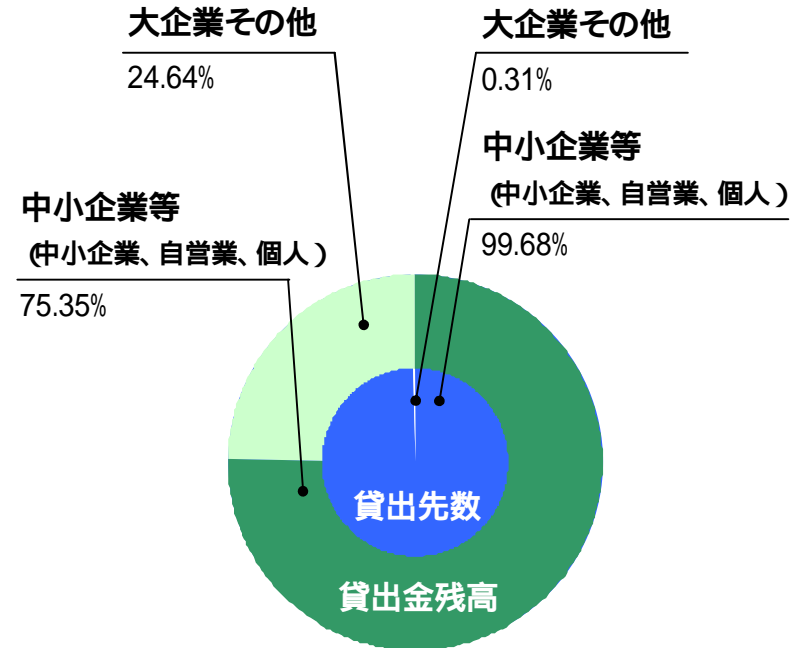
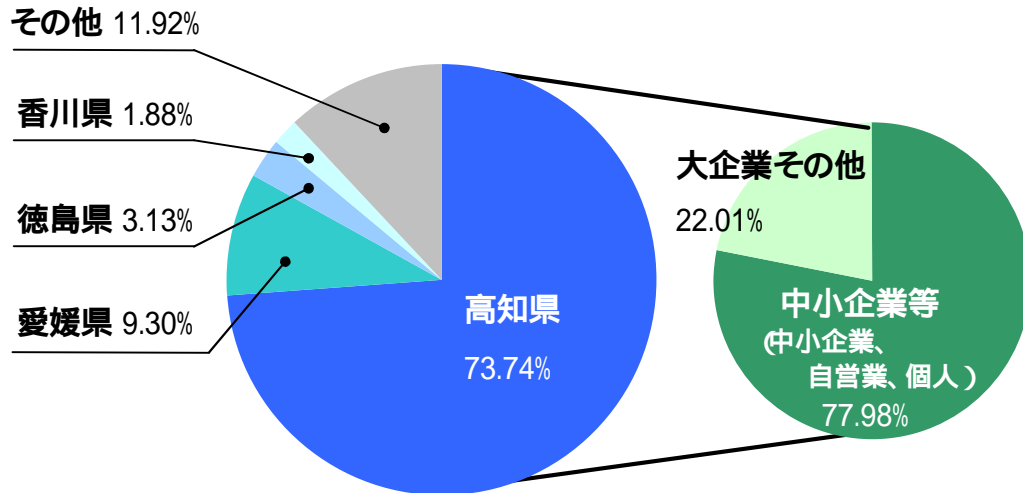
平成23年3月末の高知県内における貸出金は4,747億円で、当行の貸出金全体の73.74%を占め、また、当行の貸出金の75.35%は中小企業や個人のお客さまへのご融資となっております。

総貸出金残高に占める地元貸出金
(2011年3月末)

中小企業等に対する貸出金の割合
(2011年3月末)

総貸出金残高
6,437億円

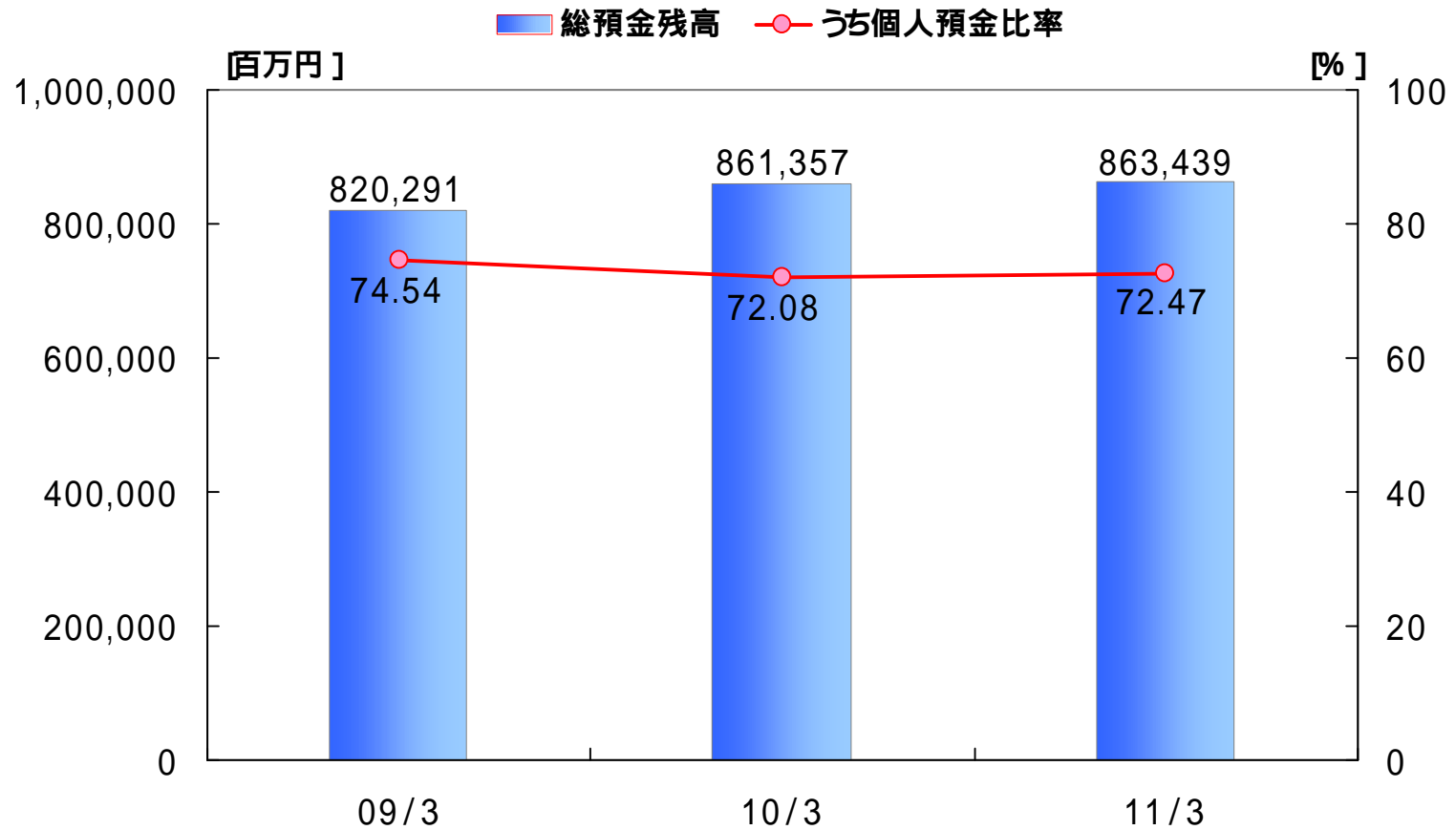
高知県内貸出金残高
4,747億円



2.預金

総預金

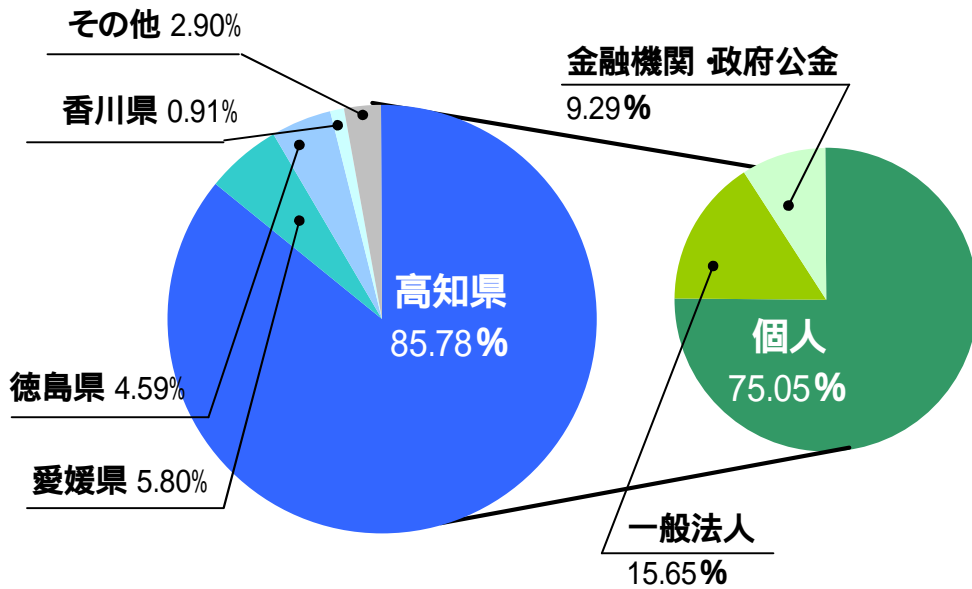
個人預金、公金預金が増加したことから、譲渡性預金を含む総預金の残高は前年同期末比20億円増加して8,634億円となりました。



平成23年3月末の高知県内の総預金は7,407億円で、当行全体の85.78%を占めております。
 また、おかげさまをもちまして個人のお客さまにも高いご支持をいただいております。

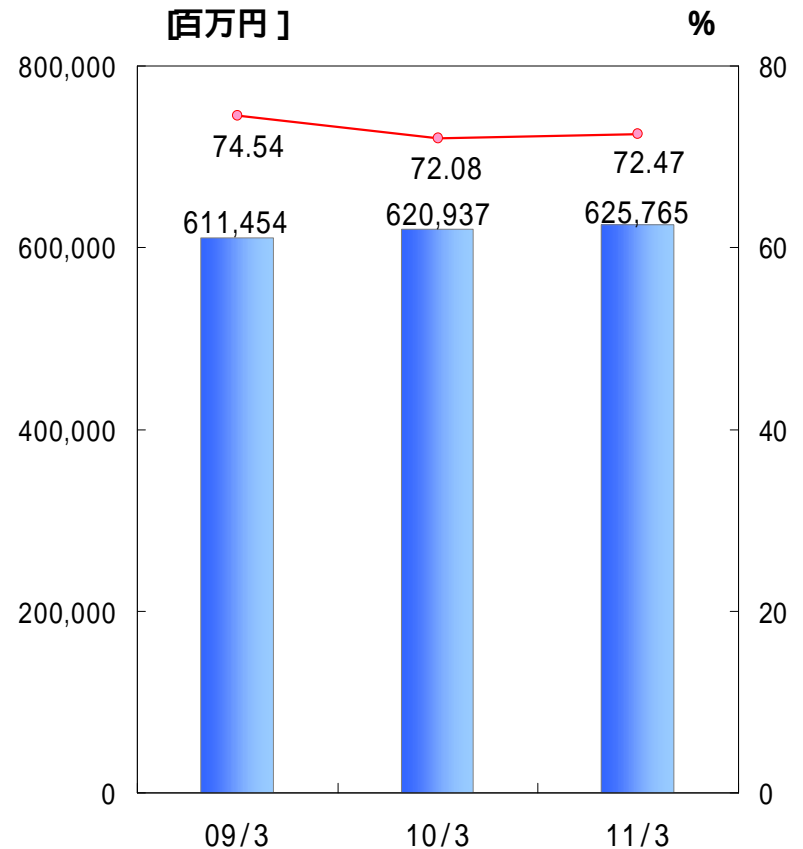
総預金残高に占める地元預金 (2011年3月末)

総預金残高 8,634億円
 高知県内総預金残高 7,407億円



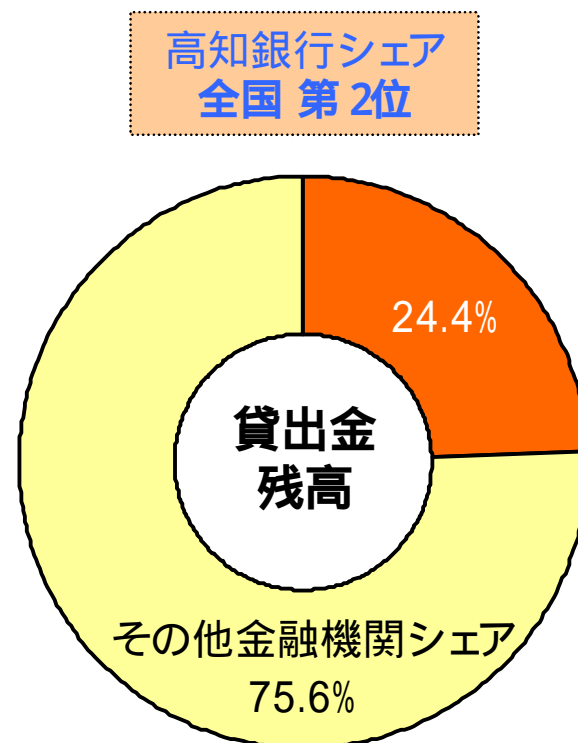
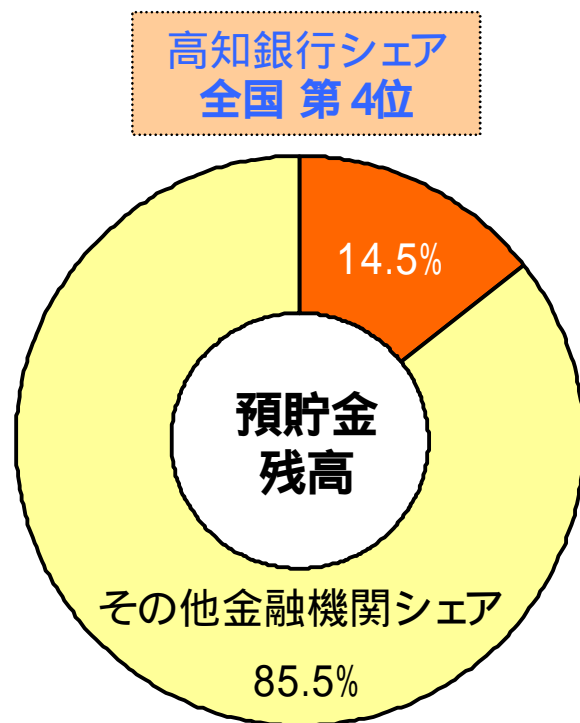
個人預金の推移

■ 個人預金残高 ● 個人預金比率



3. 地元におけるシェア (平成22年3月末)

第二地銀の地元におけるシェア」におきまして、高知銀行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。



高知県内の計数を対象としています。

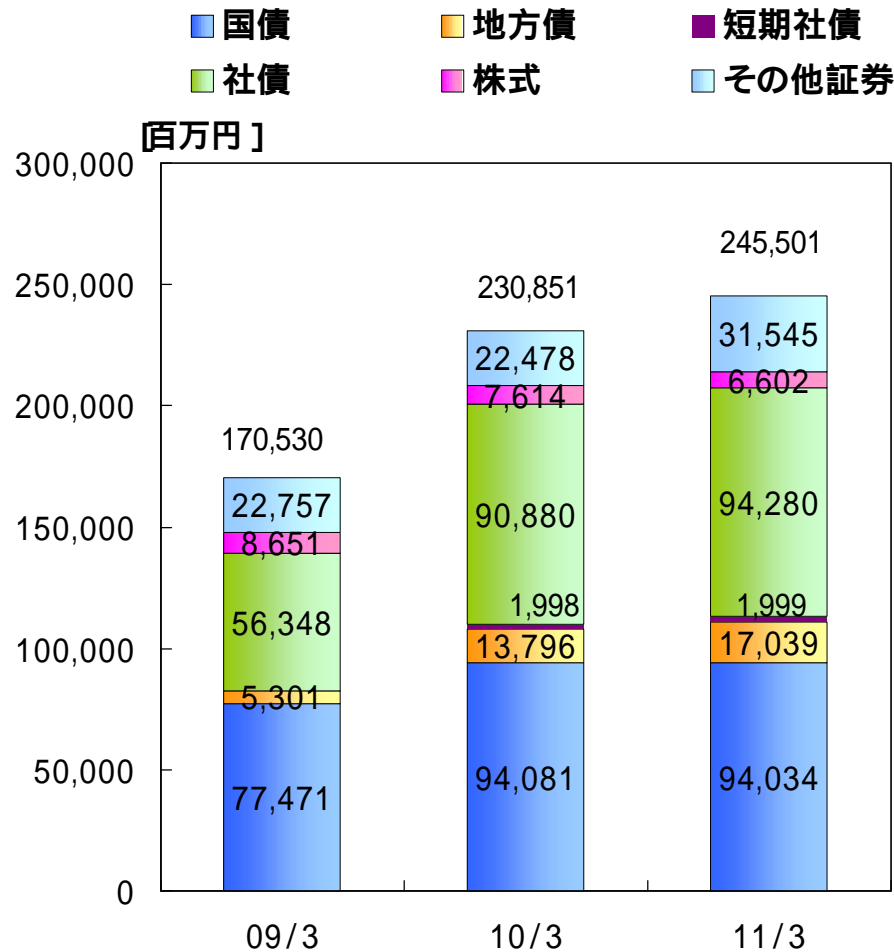
その他金融機関には、大手銀行など、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、ゆうちょ銀行を含みます。

月刊金融ジャーナル増刊号金融マップ2011年版調べ(平成22年12月発行)

4. 有価証券

厳正なリスク管理のもとで効率的な運用を図っています。
 平成23年3月期の有価証券残高は、前年度比146億円増加して2,455億円となりました。

有価証券残高



評価損益 (その他有価証券)

単位 :百万円

	10/3	11/3	差 額
株式	411	907	496
債券	2,046	2,541	495
その他	185	189	4
合計	1,449	1,444	5

有価証券関係損益

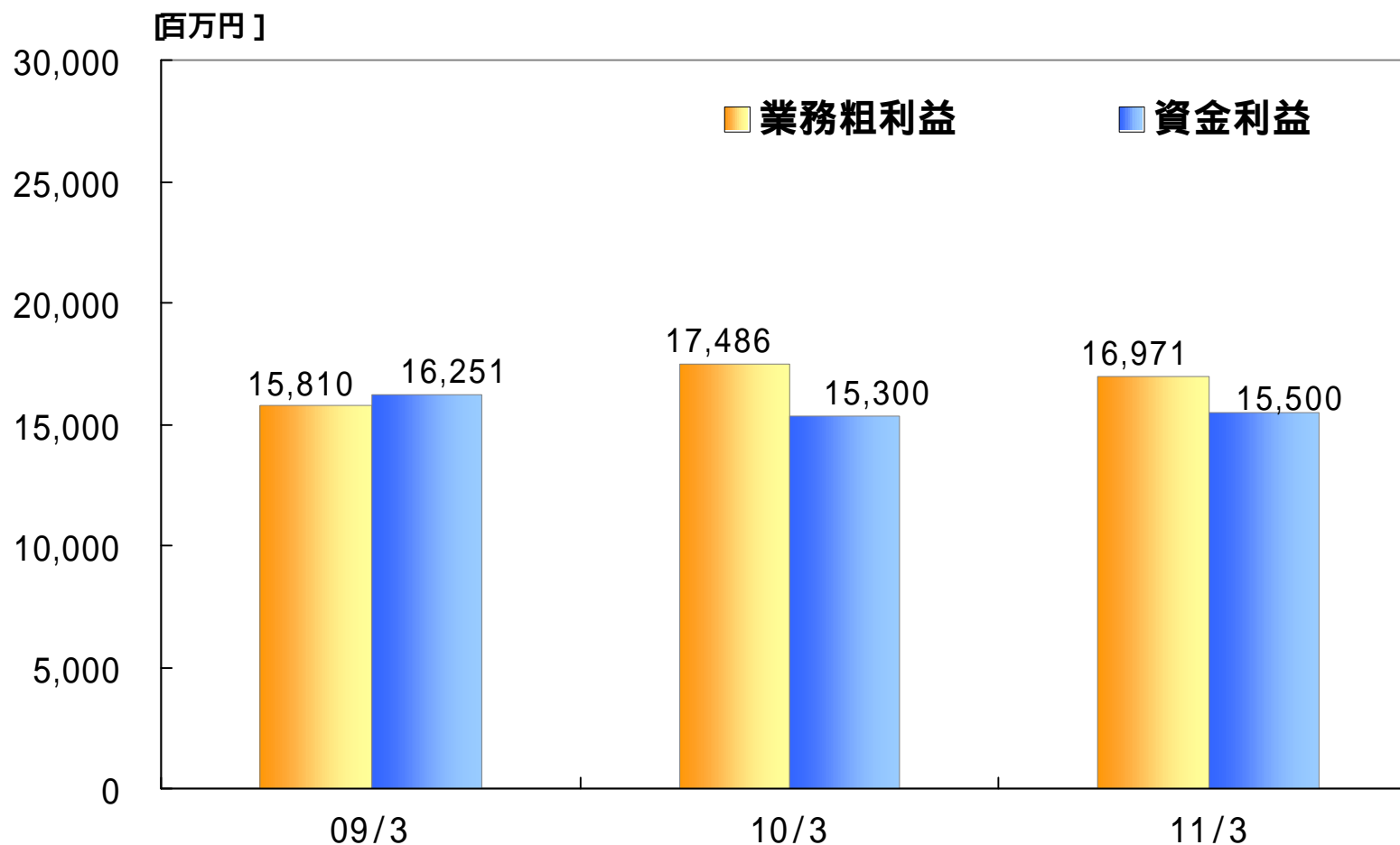
単位 :百万円

	10/3	11/3	差額
債券関係	1,480	1,290	190
株式関係	481	309	172

5. 損益状況

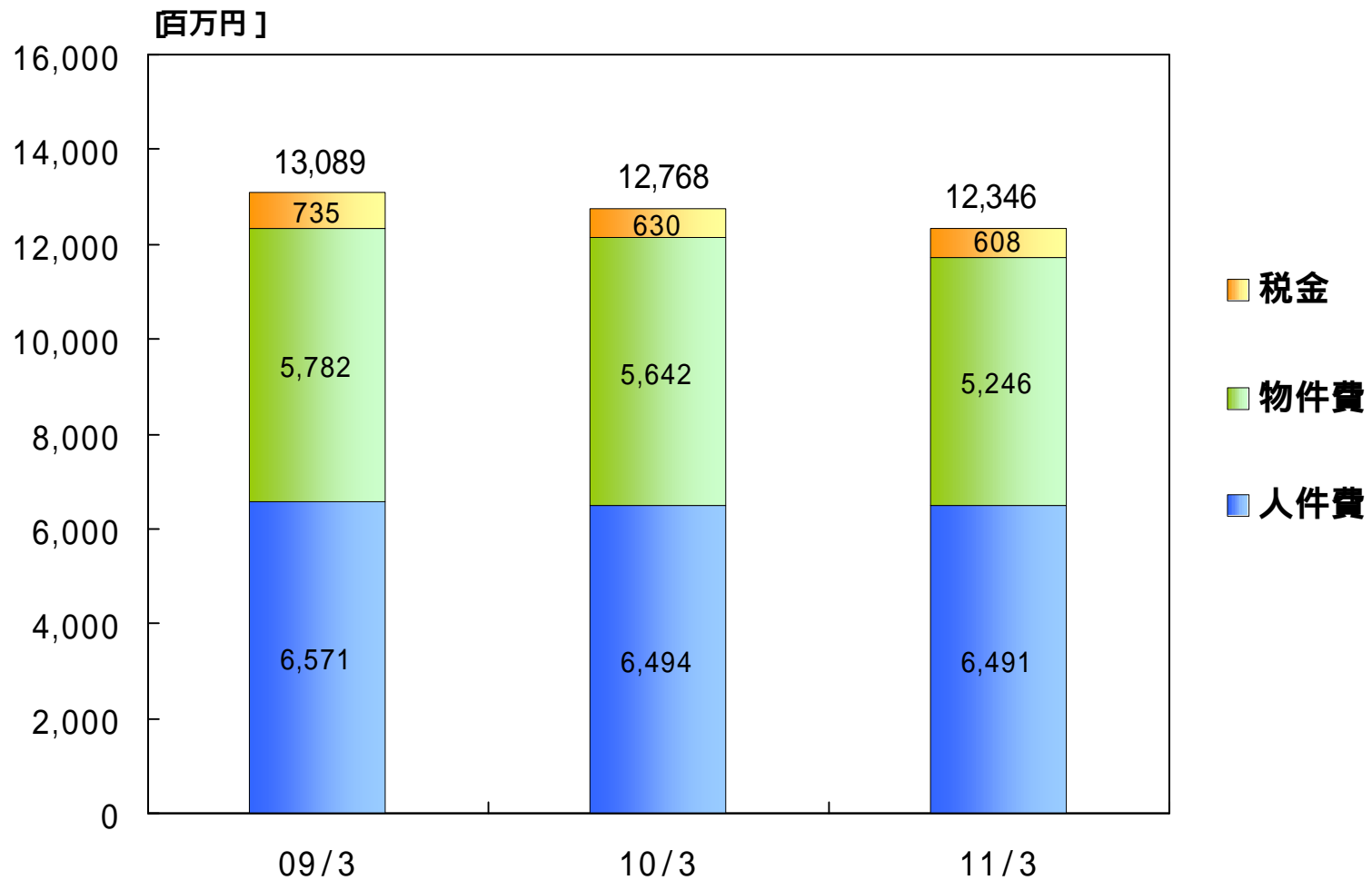
業務粗利益

資金利益は155億円、役員取引等利益は1億53百万円、その他業務利益は13億16百万円で、業務粗利益は169億71百万円となりました。



経費

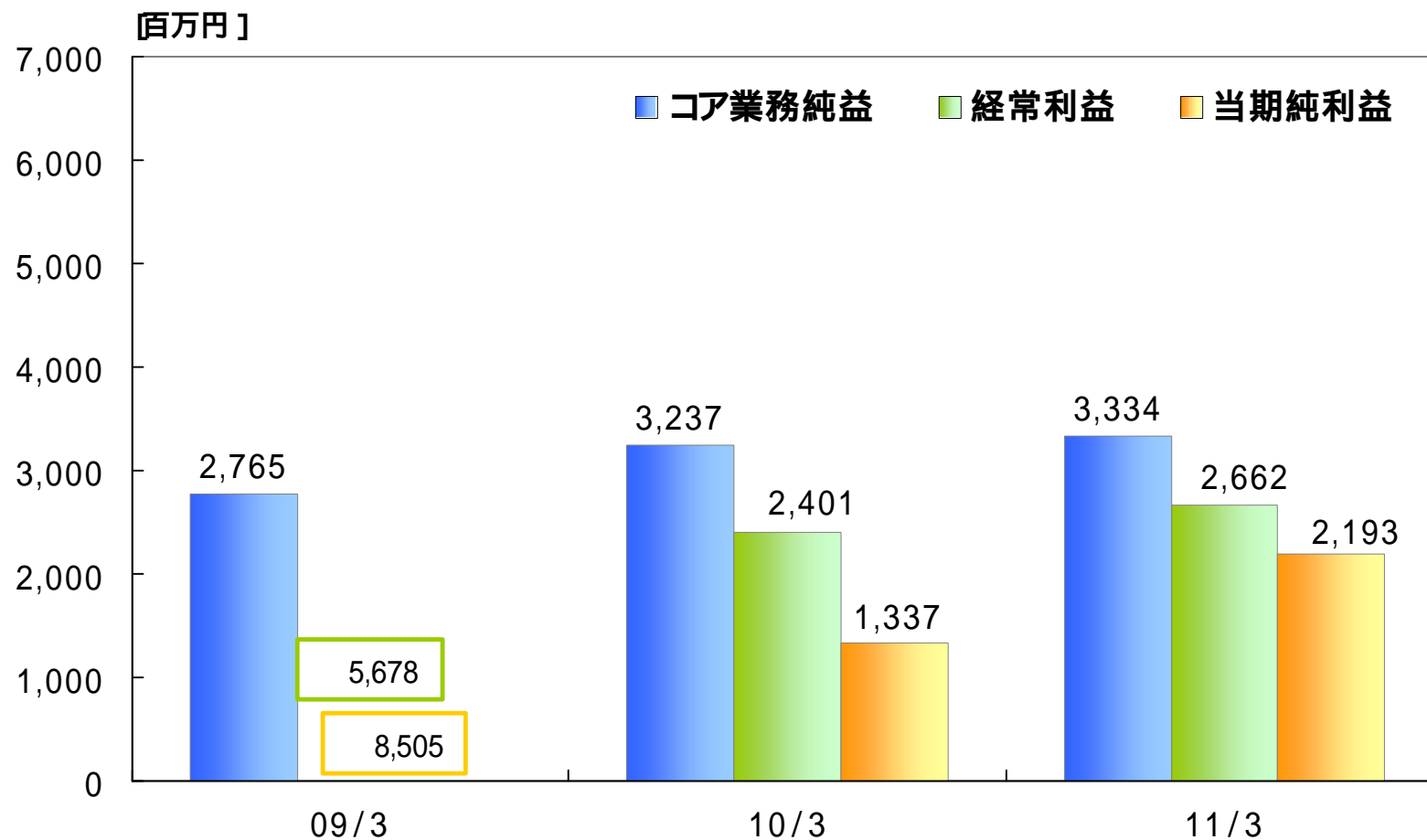
平成23年3月期の経費合計は前期より4億22百万円減少し、123億46百万円となりました。



コア業務純益

銀行の本業での業績を表す指標といわれるコア業務純益は33億34百万円となりました。

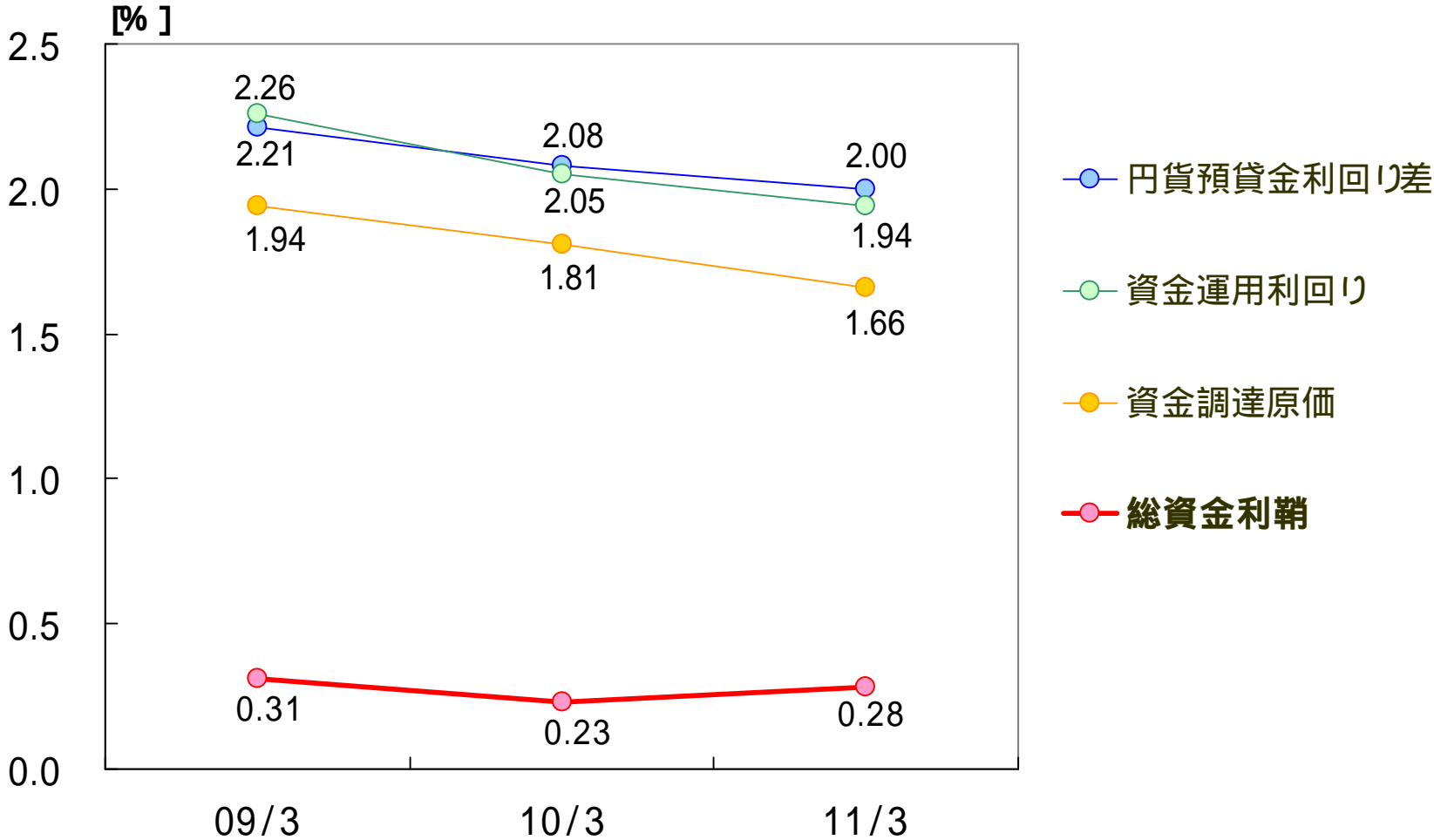
経常利益は26億62百万円、当期純利益は21億93百万円となりました。



利 鞘

資金運用利回り及び資金調達原価はともに低下しています。

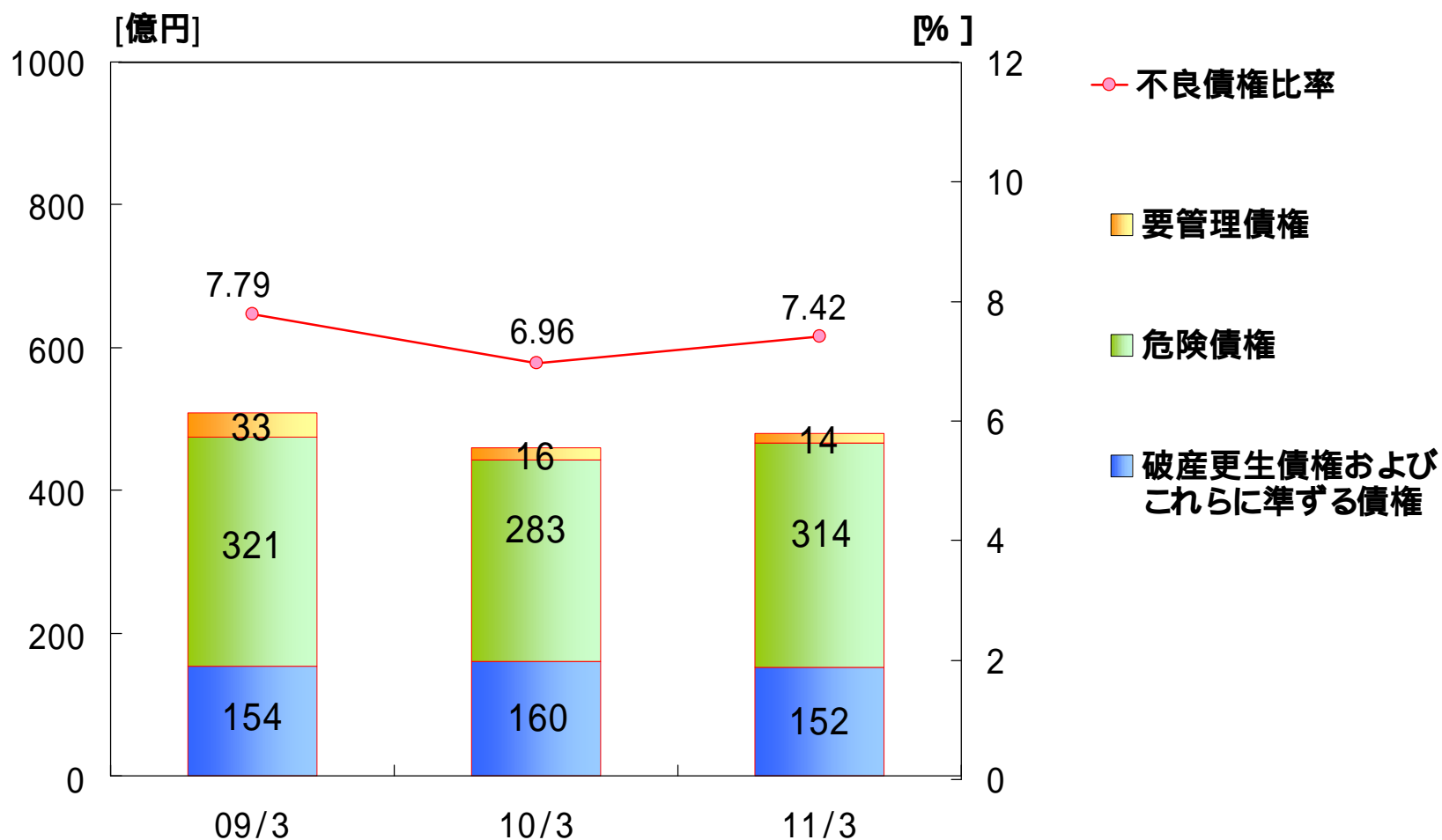
円貨預貸金利回り差は前期同期比0.08%低下して2.00%となりましたが、総資金利鞘は同0.05%上昇し0.28%となりました。



6.不良債権への取り組み

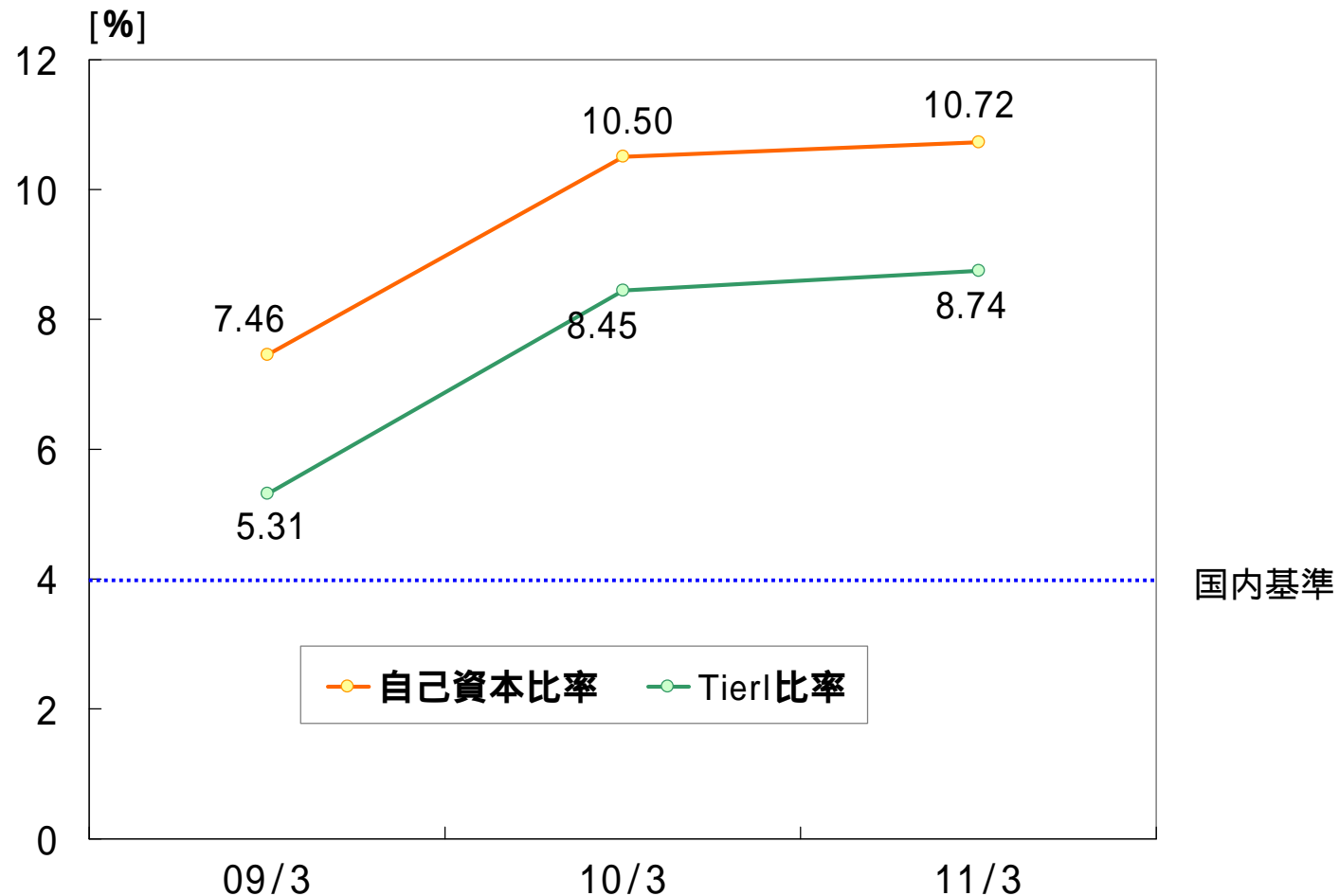
金融再生法開示基準に基づく債権

金融再生法開示基準に基づく不良債権の合計は481億59百万円で、不良債権比率は7.42%となりました。



7.自己資本比率

自己資本比率は10.72%、資本金・剰余金など中核的な自己資本で算出した自己資本比率 (Tier 1 比率) は8.74% となりました。



8. 中期経営計画 (第二次こうぎん維新)

~ 未来へ向けた改革 ~ 明日を元気に! ビビットバンク

平成 21年 10月 ~ 平成 24年 3月

経営目標

~ 地域密着型リテールバンクとしてのバリューアップに向けて

お客さまにとって …役に立ち信頼される銀行

株主にとって ……格付け評価が高く信認の厚い銀行

地域社会にとって …使命を果たし発展に貢献できる銀行

職員にとって ……魅力的で夢と希望を実現できる銀行

経営基本方針

- ? 高収益構造への転換
経営の効率化と資産の健全化を進め高収益構造への転換を図る
- ? 経営力の強化
リスク管理と内部統制態勢の高度化を進め経営力を強化する
- ? 地域貢献力の向上 地域密着型金融の推進
地域金融機関としての社会的責任を果たすため地域貢献力を高める

当行のビジネスモデル

地域との共存共栄

中小企業等への安定的かつ円滑な資金供給
地域への良質な金融サービスの提供

地域経済の活性化

財務基盤の一層の強化

収益力の強化

トップライン
収益の向上

経費削減の
徹底



資産の健全化

経営改善支援
活動の強化

オフバランス化

リスク管理態勢の強化

コンプライアンスの徹底

中期経営計画 (第二次こうぎん維新) の主要計数目標と実績 計画期間 平成21年10月～平成24年3月

単位 : 百万円

コア業務純益		21年3月期	21年9月期	22年3月期	22年9月期	23年3月期	23年9月期	24年3月期
	計 画			2,575	1,511	3,047	1,945	3,920
	実 績	2,765	1,842	2,635	1,531	3,334		
	計画対比			60	20	287		

コア業務純益 (業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益)

単位 : %

業務粗利益経費率		21年3月期	21年9月期	22年3月期	22年9月期	23年3月期	23年9月期	24年3月期
	計 画			67.22	69.73	69.50	65.64	65.38
	実 績	72.63	60.28	64.82	66.35	63.63		
	計画対比			2.40	3.38	5.87		

業務粗利益経費率 (経費 - 機械化関連費用) ÷ 業務粗利益)

単位 : 億円

当期純利益		21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
	計 画		5	9	13
	実 績	85	13	21	
	計画対比		8	12	

自己資本比率		21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
	計 画		10.3%程度	10.4%程度	10.5%程度
	実 績	7.46%	10.50%	10.72%	
	計画対比		0.20	0.32	

9.地域社会への貢献

高知大学との連携による市民講座

高知大学との連携協力協定に基づき、同校および安芸市との共催による、地域の活性化をテーマとした「安芸市産業振興市民講座」を平成23年1月に開催いたしました。

同講座では「安芸市を元気にするために～産業の活性化を目指して」と題して、食品加工や地域再生の事例、雇用などについて講演を行い、地域の企業や関連団体等から約40名の方にご参加いただきました。



高知工業高等専門学校との連携による シーズ発表会

高知工業高等専門学校との産学連携協力協定に基づき、同校が保有している研究技術と、地元企業のニーズとの連携を図ることで、地域の発展と産業の振興に貢献することを目的とした「第5回 シーズ発表会」を平成22年11月に開催いたしました。

今回は「新技術分野」「バイオ分野」「安全 安心分野」の3つのテーマについて、グループ別に研究内容の発表と質疑応答が行われました。



食をテーマとした商談会を開催

高知県産業振興計画の取り組みの柱である地産地消・地産外商戦略を推し進めることを目的に、高知県、一般財団法人高知県地産外商公社、株式会社四国銀行との合同による「食の大商談会 2010」を、平成22年11月に開催いたしました。

当行はこれまでに2回「高知の食を元気にする商談会 ぐまい国土佐」を開催してまいりましたが、今回は合同商談会となったことから、出店事業者は94社、仕入れ業者は102社とほぼ倍増し、スケールメリットも期待できる商談会となりました。



高知県に寄付金を贈呈

当行は、高知県の産業振興計画の取り組みのひとつである観光による産業振興に協力する金融商品として、平成22年6月より取り扱いをしてまいりました「土佐 龍馬であい博応援定期」の販売残高の0.01%にあたる約154万円を、「土佐 龍馬であい博」の運営資金として平成22年11月に高知県へ寄付させていただきました。

「であい博」への協力は今回が2回目で、寄付金総額は313万円となりました。



「こども金融 科学教室」を開催

産学連携協力協定を締結している高知工業高等専門学校との合同による、小学校高学年を対象とした「こども金融 科学教室」を、平成22年7月に高知県高岡郡梶原町において開催いたしました。

このセミナーは、将来を担う子供たちにお金に関する価値観や正しい知識を身につけるとともに、科学に親しんでもらうことを目的としており、第4回目となった今回は、高知市以外では初めての開催となりました。今後、高知県内各地で順次開催してまいりたいと考えています。

こどもサッカー教室を開催

高知大学との連携協力協定に基づく取り組みの一環として、高知大学サッカー部との合同による第1回「こどもサッカー教室」を平成22年12月に開催いたしました。

これは、地域のこどもたちを対象に、競技の普及やジュニア育成を通じて地域のスポーツ振興に貢献していくことを目的としており、当日は幼稚園児から小学校高学年までのこどもたち約180名にご参加いただきました。



経営改善支援への取り組み

融資統括部の企業支援グループと営業店が一体となって、ご融資先の中小企業の皆さまに、経営に関するご相談や財務分析資料などの情報を提供しています。

平成22年度の取り組み実績

項目	実績
経営改善支援への取り組み (ランクアップ)	12先
再生計画の策定	15先
中小企業再生支援協議会への持ち込み	11先

各種相談会の開催

地域の皆さまの年金や税務に関するご相談や疑問にお答えするために、「年金相談会」や「出張税務相談会」を、高知県内各地の当行営業店において開催しています。

平成22年度には、「年金相談会」を13回開催し、通算123回の開催となりました。
また、「出張税務相談会」は12回開催し、通算41回目の開催となりました。

お問い合わせ先

株式会社高知銀行 経営統括部

TEL 088-822-9311 FAX 088-871-7121

URL <http://www.kochi-bank.co.jp/>

E - mail kouhou@kochi-bank.co.jp

本資料には、当社グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。本資料は決算の概要や経営方針等についてのご案内を目的としており、取引の推奨あるいは勧誘を目的とするものではありません。